

第41回自由が丘のまち運営会議議事録

日 時 : 平成23年(2011年) 1月24日(月)
18:30~19:45

場 所 : 自由が丘会館4階

出 席 者 : 別紙の通り

議 題

- (報告事項) :
- 1 駅前広場整備の進捗状況と今後の工事予定について
 - 2 駅前広場の喫煙所に関する提案
 - 3 自由が丘周辺地区「踏み切り解消」協議会～今後の活動方針
 - 4 自由が丘駅前広場周辺の屋外広告物の景観形成にかかわる基礎調査の件

(株)ジェイ・スピリット渡邊取締役より挨拶

◆議題・・・駅前広場整備の進捗状況と今後の工事予定について

碑文谷土木事務所監督員柳下氏より報告

<質疑応答>

(委員)改札口前の東京電力の地上機はどこにつくのですか？

→(碑文谷土木事務所監督員)駅前の交番より、タクシーが止まる場所の駅口よりの歩車道の境界に、高い物を車道に寄せてつける形になります。地元の分電盤も寄せてデッドスペースにつけます。

→(委員)どのくらいのものですか？

→(碑文谷土木事務所監督員)東電の物についてはあの高さで、皆さんの物についてはガードパイプ位で800mm位の高さになります。

(議長)地元の分電盤は、駅の改札を出てすぐ左の横断歩道の植栽の中に入るのですか？

→(碑文谷土木事務所監督員)そこでは、ありません。東電の地上機の脇です。駅を出てすぐの所にあるグリーンのを左の方へ移動します。現状のタクシー乗り場の方に近づくということです。8m以内の所に移動します。駅を降りると8mの横断歩道がありますが、それをよけた形になります。人の動線の邪魔にはならない所です。現状で3つ電話ボックス、宝くじ売り場、2つ電話ボックス、地上機となっているのを、その地上機がさらに左の方向にずれます。

(議長)横断歩道の所に設置するという話は設計の段階でありましたか？

→(碑文谷土木事務所監督員)設計の段階では、ツリーサークルの四方のどこかに寄せるような形でした。それを植栽の中に入れました。人が歩く所に置きたくありませんでした。

→(議長)駅を降りて正面にあるので目立つ、という声が多くあるのですが。

→(碑文谷土木事務所監督員)大きな木が1本立ち周りに低木を植え植栽の中に収まります。正面に木が植わるので目立たなくなると思います。こういうものはもともと植栽帯の中に入れていたものです。

→(委員)ダロワイユさんの所にある物も、むき出しで非常にみっともないのですが。

→(碑文谷土木事務所監督員)東電で移設するのに短い距離だとケーブルを動かすのにやりづらいようです。あの歩道が1mか1m50cm広がらないと移設できませんので、諦めている状態です。

→(委員)あの分電盤は結構大きいのですが、今はもっと小さいのが出ていると思います。

→(碑文谷土木事務所監督員)私の知っている形はあの形です。これだけ大きな商店街だから、かなりの電気を使うと思います。

→(委員)分電盤に南口のようにカバーをしたら？

→(議長)高木をあそこに1本植えたらかなり和らぐかもしれませんが、正面に緑の箱が見えるのは事実なので、どうしてもこの場所が変えられないのであれば東電広告社が案内板をその背面に設置しても良いという話がきています。真正面なのでもう少しポジティブに考えられませんか。

→(碑文谷土木事務所監督員)背面の利用については考えていませんが、もともとの設計に階段がありちょっと上にいくとベンチがある、さらに階段がありベンチがあります。ベンチ階段ベンチ階段となっ

ています。その近くは人が歩き、これを置く所がないので植栽帯の中にうまくあてこみました。もともとの設計では、ベンチでした。ところが駅からそのベンチまでは殆ど段差がありません。そうすると、またぐ人、飛び越える人、躓いて倒れる人などが出てくるのでベンチをやめて植栽帯になりました。いろいろな事情がありますが、植栽で隠れない上の方にさっき言われた地図のような物をつけるのであれば屋外広告物法というものがあり、小さな物なので殆ど影響しないと思われませんが申請が必要な場合もあり、奇抜な物はつけられません。

→(議長)詳細は、街並み形成委員会の方で調整したいと思います。

(議長)みずほ銀行の前の柵は設計当初になかったと思いますがいつ決まったのですか。

→(碑文谷土木事務所監督員)これは、もともとありました。バス停の所は、勾配がゆるい。全体的には殆ど5%位の勾配です。ですから、4m行くと20cmの段差、階段1段分。地形的に言うと、みずほ銀行から一誠堂にかけて平均5%の勾配があります。バスをご利用になる方に傾斜があると危ないということでバス停の前だけ3%にゆるくしました。その結果、お店がある側と車道側で段差ができました。その段差を階段やベンチで解消していて擁壁状になっています。段々先に行って細くなるのでいつまでもベンチや階段を置けないので擁壁になっており、転落防止の柵なので、これはもともと設計しています。

(平井取締役)それはそれとして、過去に違法駐輪の調査を何度もしていますが、手すりや壁状の所は非常に心理的に自転車が止めやすい。そこら辺を水曜日に地区整備事業課長、道路管理課長と使い勝手の話をしているのですがベンチ等を置いて自転車が置きづらい工夫を検討して頂ければと思います。

→(碑文谷土木事務所監督員)だんだん狭くなっているの、出来あがった後に通っている歩行者を見ていると圧倒的に勾配のきつい上の歩道を歩く方が多いです。バス停のある方の2m強を通る方は殆どいません。そういうのを見ていると向こうの方を狭くする造作を何かするというのはあまり良い方法ではないのかな、と言うのが私個人の意見です。

(議長)今とても快適に歩いています、ここに街路樹が2本きます。低い方側に移した方がよいのでは？

→(碑文谷土木事務所監督員)できるだけ寄せるという事はできます。

(議長)たばこを吸っている辺りに街路樹を移した方がよいのでは？

→(碑文谷土木事務所監督員)道路交通法上では、2m以上が歩道というのが一般的です。特にバス停側は2mちょっとしかないの何かを作るのは無理かな、と思います。

→(議長)今結論は出さず、街並み形成委員会でもいろいろ意見を頂いているので調整できる所はあと2ヶ月ありますので調整して頂きたいと思います。また、何かありましたら街並み形成委員会にお話下さい。

◆議題・・・駅前広場の喫煙所に関する提案

環境保全課長より説明

<質疑応答>

(委員)質問は3点あります。1番目、卯月先生への質問です。喫煙場所の決定のプロセスは?どの場所で決定するのですか?街並み形成委員会で決定するのですか?2番目、区の方への質問です。今提示された案を見ますと今一つ練れていない気がします。と言いますのは、歩行者天国の時にはパーテンションが歩道側にしかないのどのような扱いをするのか、受動喫煙がなされてしまうのをどうするのですか?3番目、約1年前に駅前広場のワークショップでこの街に集う500名弱の方にアンケートをとりました。そこで、出た結果としては82.7%の人が受動喫煙は嫌だと言っています。この街に集う方々の意見を反映しないと商店街にも影響が出ると思います。受動喫煙についてしっかり考えなければいけないと思います。特にA地点の場所は通行量・歩道の幅を考えるととんでもない場所です。住民会議としましても受動喫煙は嫌だという意見を出しています。もし、喫煙場所を設ける場合は、通行量の少ない所に設けてほしいという意見を出していますが、こういう提案を出されたのでは受動喫煙を防止できません。

→(平井取締役)1番目、決定のプロセスについてですが、1年半位にわたって駅前広場の懇談会を地域住民の方、商店街の方、代表の方に出席して頂きまして早稲田大学の浅野先生に座長をお願いし駅前広場の詳細について検討してきました。最終的にはここで決定するのが望ましいと思います。今、現在浅野先生をお願いしていますがこの所では、先生のご都合は2月10日が良いということで今後目黒区と調整したうえで早期に決定していきたいと考えています。それから、佐藤課長から説明のあったこの案については、11月と12月の2回にわたり住民の代表と商店街の代表にお集まり頂き目黒区から提案を頂き案を作って頂いたものです。現状で自由が丘の吸殻は多い時で2000本~3000本に近いような本数が回収されています。商店街でも、もう少し分散したほうが良いのでは…と各支部の広報紙で手を上げてもらうようお願いをしていますが、残念ながら手をあげて下さったのは、現在、広小路のみということで、早期に街のなかで分散していくのは難しいというふうに考えています。その中で3000本近い吸殻を回収していくということで、今までのように衝立も何も無い状態ですぐ後ろを人が通るという状態ではなく、ある程度煙が防げるのではないかとJTを含めて目黒区からご説明を頂いております。2月10日にご提案頂きこの時に決めたら良いのではと思います。歩行者天国時には広い場所が使えるので、避けて通るのは可能だと思っています。

→(環境保全課長)路上喫煙禁止区域の設定、喫煙場所の設定については区の条例がありまして、この条例に基づき設定しているのが路上喫煙禁止区域地元懇談会というもので、昨年11月と12月に開かせて頂きました。区としては、この懇談会で決めさせて頂きたいと思っております。ただ、こういった場でご意見を賜るということも考えております。3番目ですが、私共も昨年の2月14日に参加させて頂きアンケートを取らせて頂きました。もちろんいろいろなご意見があった訳ですが、やはり喫煙場所が必要だという意見が多かったのではないかと思います。そうした中で、受動喫煙を防止したいという

観点から今回は1つの提案として、このようなパーテーション設置してみようという事で提案したものです。いろいろな検討を重ねた上で提案したものです。

→(委員)受動喫煙の防止については、82.7%の人の意見を反映して頂いた方が良いと思います。

→(議長)平井さんからご説明があったように、喫煙場所についてはこの間保留にしておき、何も工事していません。2月10日(予定)の懇談会の中で今、出ている1箇所または2箇所の喫煙場所の資料を少し整理し決定していきたいと思います。ただ、決定場所を踏まえた後の工事は3月までの工事という事ではなしに、警察の協議が必要という事で早くも春・夏とかというような工事になると思います。ご承知おき頂きたいと思います。

→(委員)2月10日にお話をすれば良いのかもしれませんが、目黒区健康推進課が進めている施策と違うのではないのでしょうか？ここはベビーバギーや子連れの方が多いのに、そういう人たちを排除するのですか？屋外でも受動喫煙対策を進めようという区が作成したチラシがあり、そういうものに逆行しているような気がします。自由が丘は時代を先取りしようとしている街です。駅前広場に喫煙場所が2箇所というのは自由が丘の街が喫煙者にあまい街だととらえられてしまうという懸念が起こると思います。

→(委員)禁煙が正義のようになってしまっているが、別に法律で禁止されているものではなく、バランスの良い感覚が自由が丘に必要だと思います。吸う方もいらっやいます。

→(委員)それで、最初は0と言っていたのですが、1箇所にしましょうという案を1年半かけて作ってきました。

→(委員)1箇所にしますと、そこが群れ山になってしまうのですよ。多い時だと15~16人います。倍にならないにしても立ち止まっている人がたくさんになり、それこそ受動喫煙が多いと言われる大変な場所になってしまいます。

→(環境保全課長)健康増進法という法律があり、人が集まる所には何らかの配慮をする考えがあります。目黒区の道路など屋外については平成27年度までに組織の中で検討していくという事になっています。我々も今のようなパーテーションも何も無い状態が良いとは思っていませんので、提案した方法を考えながら検討していきたいと思っておりますのでご理解頂ければと思います。

◆議題・・・自由が丘周辺地区「踏み切り解消」協議会～今後の活動方針

小原氏より報告

<質疑応答>

(議長)募集期間は？

→(小原氏)準備会として年度末までと思います。

→(議長)では、年度内に希望の方がいらっやいましたらジェイ・スピリットへお願いします。

→(委員)こういう進行ぶりも必要ですが、もっと泥臭い署名運動や町会、振興組合など先にどんでんやっ頂きたいです。調査調査ではなく、皆の本当の意見でやって頂きたいです。

→(小原氏)是非、一緒にやりましょう。

→(渡邊取締役)要は地域が盛り上がらないとダメよ、と言う事です。その事はいろいろな検討会で出ています。署名運動が良いのかどうい形が良いのか分かりませんが、地域を盛り上げる行動をとりましょう、と言う事です。

(委員)2点あります。1点目はお願いします。「開かずの踏切解消」という言葉がありますが、「解消」という言葉が開かずの踏切全体にかかっていると思っています。開かずの踏切という現象を解消していくという風に理解しています。この事業は大事業で10年かかる事業だと思っています。議論を着実に一歩ずつ進めて頂きたいと思います。この資料の中に「開かず」がなくて「踏切解消」となっている部分があります。これは論理的な飛躍があるので、まず「開かずの踏切の解消をする」事を議論して頂きたいと思います。2点目、なぜ開かずの踏切が出来てしまったかを考えると、大井町線が急行を走らせた事だと思っています。東急が急行を走らせる時に行った説明の中には、このような状況はなかったと思います。それも根本の原因だと思っています。今、いつ事故が起こってもおかしくない非常に危険な状況だと思っています。長期的な検討も必要ですが、今出来る応急的な検討も考えてほしいです。例えば東急に人を出させ有人踏切化し安全を確保します。もう一つは、東急のダイヤを20秒か30秒、変更してもらっただけで大分違うと思います。当面の事故の防止として東急に依頼する所は依頼し、未然の事故防止をするという事をしてほしいです。

→(議長)

貴重なご意見をありがとうございました。

◆議題・・・自由が丘駅前広場周辺の屋外広告物の景観形成にかかわる基礎調査の件
街並み形成委員林氏、卯月議長より報告

高橋氏:次回のまち運営会議は3月22日(火)になります。

来年度からは、第4木曜日に変更させて頂きたいと思いますので、よろしくお願い致します。